

時を紡ぐ濃藍の景色

Laos ラオス



ラオスには、40とも70ともいわれるほど多様な少数民族が暮らし、異なる言語と文化を持っている。

ここは、中国・ミャンマーと国境を接するラオス北部のルアンナムター県。レンテン族は綿から糸を紡ぎ、機織りをして布を作る。濃い藍色になるまで何カ月もかけて何度も藍染めを繰り返す。綿花や染料となる藍の栽培、山で切り出した石から石灰を作るところまで、全てが手作業だ。

時代の変化とともに変わりゆくものも多いが、村に行くと、どの家庭にも藍染め用のたると織り機があり、風になびく洗濯物の中には濃藍の民族衣装がある。

今時の若者らしい風貌の友人も、おばあちゃんの村に行くときは、普段と少し違って素朴な表情を見せる。

人々の手で長い時間をかけて作り出される布は、長い時を経て、子へ、孫へと伝えられてゆく。



撮影：西谷 明奈（ラオス/元青年海外協力隊）

あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や開発途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

応募条件 ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上（目安）で撮影されていること、また画像の記録形式はJPEGを推奨します。

応募方法 お名前、連絡先（電話番号とEメール）、エピソード（300～350字）、記名の可否をご記入の上、写真と共に応募先アドレスまでEメールでお送りください。

*応募作品は本コーナーの他に、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。ご記入いただいた個人情報はいずれの目的でも使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

応募／問い合わせ先

jica-photo@idj.co.jp

（『mundi』編集部宛）